あいちの会 NEWS

第53号　2026/11/1発行

発行責任者/北折健次郎　編集/あいちの会 NEWS 編集委員会

認定 NPO 法人 あいち骨髄バンクを支援する会 〒464-0006 名古屋市千種区光ヶ丘 1-22-7-105
電話＆FAX052(712)0457 E-mail:npoaichi@tj9.so-net.ne.jp HP https://aichinokai.or.jp/

名古屋市立工芸高等学校にて勉強会開催



4月22日（水）、名古屋市立工芸高等学校、グラフィックアーツ科の生徒さんに骨髄バンクについてお話ししてきました。名古屋市は名古屋市立工芸高等学校のグラフィックアーツ科の生徒さんに広報資材のクリアファイルとポスターを制作依頼しています。若い方々のアイデアで作られた啓発資材を使い、若年層から若年層への発信により骨髄バンクについて関心を持っていただく事を目的に行なわれており、そのための事前勉強会です。

クリアファイルは市内の高校3年生全員に配布、ポスターは市内の大学、高等学校、またカラオケボックスや自動車学校等、若年層が集まる場所に配布されます。

ファイルやポスターは①骨髄バンクドナー登録への呼びかけ②助成金交付制度について③骨髄・末梢血幹細胞移植の正しい知識のPRを目的とします。毎年、骨髄バンクについてとても分かりやすいステキな啓発資材に出来上がっています。制作前の勉強会では骨髄バンクについて、現状、問題点や課題、また移植についてなどお話させていただきました。



ポスター



クリアファイル（表）　（裏）

今年は３名の生徒さんが参加、真剣に話を聞いてくださいました。「現在の10代の登録者数は何名くらいですか？」「提供は何度も出来るのですか？」などいくつもの質問もあり、一生懸命さが伝わってきました。今年も想いの詰まった作品が出来ました。作品を手にとっていただき、ポスターを見ていただき、ドナー登録に繋がることを願っています。

「中部ウォーカソン2026」に参加



5月24日（日）、名城公園にて「中部ウォーカソン2026」が開催されました。 中部エリアのチャリティ団体への関心を高め、募金を呼びかけるためのイベントで、チケットを購入して歩くことにより、また会場でのお食事の収益もチャリティへのご寄付となります。 当会も毎年参加し、30年近くご寄付をいただいています。 当日はお天気に恵まれ、それでも猛暑ではなく爽やかさを感じながら活動をすることができました。今年は35周年ということもあり、例年に比べて来場者は多かったようです。当会のボランティアの他に学生ボランティア２名も参加してくださり、会場ではギフトオブライフとキティティッシュを配布し、ブースでは来場者の方に骨髄移植についてのクイズに答えていただきました。骨髄バンクの活動を広く深く知っていただく機会となりました。

活動報告（2026年4月～9月）

4月15日	豊橋准看護学校・豊橋歯科衛生士専門学校　語りべ	豊橋市保健所　保健センター
4月22日	名古屋市立工芸高等学校　勉強会	名古屋市立工芸高等学校
4月24日	イオン　幸せの黄色いレシートキャンペーン　贈呈式	イオンスタイル熱田
4月25日	愛知県学生献血連盟　令和8年度年次総会　講演	愛知県赤十字血液センター
4月30日	西尾市立看護専門学校　説明会・語りべ	西尾市立看護専門学校
5月8日	「滋慶学園COMグループ社会貢献ミュージカル」結団式	アートピアホール
5月24日	中部ウォーカソン2026	名城公園
5月29日	令和8年度骨髄バンクドナー登録業務担当者研修会	愛知県庁三の丸庁舎
5月31日	2026年度第1回理事会	あいちの会事務所（ハイブリット開催）
6月2日	会報発送	あいちの会事務所
6月5日	令和8年度献血推進担当者会議及び献血推進リーダー研修会	愛知県自治センター
6月6日	2026全国骨髄バンクボランティアの集いin東京	都民ホール
6月7日	全国骨髄バンク推進連絡協議会総会・情報交換会	新橋ビジネスフォーラム
6月14日	2026年度通常総会	あいちの会事務所（ハイブリット開催）
7月3日	令和8年度愛知県骨髄バンクドナー登録推進調整会議	愛知県庁三の丸庁舎
7月14日	日本福祉大学看護学部　講演会	日本福祉大学東海キャンパス
7月15日	中部大学　説明会・語りべ	中部大学生命保健科学部保健看護学科
7月20日	CBCラジオまつり「つボイノリオの聞けば聞くほど」事前準備	CBC会議室
7月24日	令和8年度愛知県献血運動推進大会	中区役所ホール
7月27日	令和8年度静岡県献血推進大会	静岡県コンベンションアーツセンター
8月9日	2026年度第1回ボランティアミーティング	あいちの会事務所（ハイブリット開催）
8月19日	CBCラジオ「つボイノリオの聞けば聞くほど」出演	CBCラジオ
9月6日	あいち小児がんの会シンポジウム	鶴友会館
9月10日	愛知医科大学医学部　講演会	愛知医科大学
9月16日	ナゴノ福祉歯科医療専門学校　語りべ	ナゴノ福祉歯科医療専門学校
9月18日	がんの子どもを守る会東海支部　ミーティング	あいちの会事務所（ハイブリット開催）
9月20日	「滋慶学園COMグループ社会貢献ミュージカル」	アートピアホール
9月29日	「ぼらマッチ! なごや2026」出展説明会	名古屋市市民活動推進センター

登録会報告（2026年4月～9月）

4/28（月）	豊橋准看護学校	0
4/30（水）	西尾市立看護専門学校	7
4/10（金）	安城碧海看護専門学校	2
4/16（木）	藤田医科大学	8
5/9（土）	愛知教育大学	3
5/15（金）	豊橋駅南口駅前広場	1
5/19（火）	豊田市役所	8
5/23（土）	パークアリーナ小牧（こまき産業フェスタ会場）	1
5/23（土）	しばふ広場（おいでん祭会場）	1
5/24（日）	パークアリーナ小牧（こまき産業フェスタ会場）	3
5/24（日）	アピタパワー新守山店	2
5/30（土）	日本赤十字社豊田看護大学	3
6/7（日）	豊川市総合体育館	2
6/17（水）	愛知産業大学	2
6/18（木）	小島プレス工業株式会社　本社	2
6/19（金）	瀬戸市役所	9

7/11（土）	ヨロッカ春日井	5
7/31（金）	常滑市役所	0
8/3（月）	愛知県庁西庁舎2階	2
8/4（火）	愛知県庁西庁舎2階	3
8/5（水）	愛知県庁西庁舎2階	3
8/12（水）	慈恵福祉保育専門学校	0
8/14（金）	新城市役所　本庁舎	0
8/23（日）	エアポートウォーク名古屋	2
8/26（水）	真清田神社	3
8/31（月）	江南保健所	0
9/6（日）	春日井市役所・文化フォーラム春日井	4
9/13（日）	ヨシヅヤ津島本店	0
9/15（火）	栄献血ルーム	5
9/26（土）	アピタ稲沢店	4
9/28（月）	西尾市役所　1階	1
9/30（水）	日本福祉大学　美浜キャンパス	4

小島プレス工業株式会社　本社でドナー登録会



6月18日（木）小島プレス工業株式会社本社にて献血併行型ドナー登録会が行われました。主催は小島プレス労働組合で、この登録会は労働組合結成40周年の2001年6月に始まり25年を迎えました。当時は委員長や書記長と打合せも重ね、51名の方にご登録いただきました。同年11月にはドナー休暇制度も新設し、登録と提供しやすい環境を整えて下さいました。25年が経過した今、既に提供された職員の方もいらっしゃると聞いています。毎年お邪魔すると「久しぶり、元気にしてる～？」とお声をかけて下さる方も…。今年も献血受付をお待ちの方やリーフレットを見ていらっしゃる方に「お時間あったらお話聞いてください」と声掛けをして、お忙しい中、お時間をいただきご登録くださいました。25年前、「息の長い活動にしていく」とお話されていたように現在も続く献血とドナー登録会。小島プレス工業株式会社、労働組合の皆様に深く感謝申し上げます。来年も皆様とお会いできることを楽しみにしています。

令和8年度骨髄バンクドナー登録業務担当者研修会



5月29日（金）、愛知県三の丸庁舎8階会議室で行なわれた研修会に講師として参加しました。毎年推進月間前の9月に開催の研修会ですが、今年度はアジア競技大会開催の為、5月の開催となりました。この研修会は骨髄バンクドナー登録担当者を対象に骨髄バンク事業に係る知識の向上を図る事を目的として愛知県、名古屋市、豊橋市、豊田市、岡崎市、一宮市の担当者が一堂に介して行われます。

はじめに、愛知県医薬安全課担当課長からご挨拶があり、その後愛知県の骨髄バンクドナー登録推進事業についてお話がありました。令和7年度の登録状況として1,047名の方にご登録いただけた事、10月の推進月間の事業報告などお話がありました。続いて、愛知県赤十字血液センターより、登録受付業務について、日本赤十字社の造血幹細胞提供支援機関としての役割などお話がありました。広報資材の紹介や献血ルームでの登録推進の取組なども紹介されました。

愛知県､血液センターからの報告後、当会から説明手順についてグラビアを使って解説させていただきました｡申込用紙記入についての注意点なども説明し､その後､同行したボランティアのドナー体験者から、登録時から提供、現在に至るまでのお気持などお話いただきました。なかなか提供者の話を聞く機会のない保健所担当の皆様は一生懸命話を聞いていました。最後にお隣同士でロールプレイも行いました。皆様、スムーズに説明が出来ていたように感じました。登録についてわかりやすく、短時間で説明するのは大変ですが、ドナーに選ばれたときにスムーズに提供に至るよう､私たちで出来ることを頑張っていきたいと改めて感じました。

令和８年度献血推進担当者会議及び献血推進リーダー研修会



６月５日（金）、愛知県自治センター12階 会議室にて開催された「令和８年度献血推進担当者会議及び献血推進リーダー研修会」に講師として出席しました。この研修会は県民に広く献血思想を普及することを目的に、保健所、市町村の献血推進担当者及び地域の献血推進リーダーの知識の向上を図るため行われます。

はじめに愛知県医薬安全課より愛知県の血液事業についての報告がありました。年代別の献血率については若年層の献血率が低い、また、回数別献血者も複数献血者が少ないとの報告もありました。献血にご協力いただける方を増やすための広報活動なども紹介されました。その後、愛知県赤十字血液センター より「若年層献血者確保の必要性と今後の血液事業の課題 」と題しお話がありました。骨髄バンクも献血も今後は若年層にご協力いただくことが大きな課題となっていることを改めて感じました。最後に当会より、『いのちをつなぐ献血 ～献血ドナーさんに「ありがとう」～』と題しお話させていただきました。私からは先ずは献血にご協力いただいていることに対し感謝の気持ちを伝え続いて病気について、移植について、骨髄バンクについて、問題点と課題などをお話しました。その後、元患者さんから発病から現在に至るまでのお気持、そして献血（輸血）でつながったいのち、そして感謝の気持ちを伝えていただきました。皆様、患者さんの話を真剣に聞いていらっしゃいました。輸血を必要としている、必要としていた患者さんのお話は心に響きます。

２週続きの研修会で骨髄バンクや献血の課題を改めて認識しました。一人でも多くの患者さんのお力になれるよう、今後どんな活動を続けたらよいかなど考える時間となりました。

令和８年度愛知県骨髄バンクドナー登録推進調整会議

7月3日（金）、愛知県三の丸庁舎　会議室にて「愛知県骨髄バンクドナー登録推進調整会議」が開催され委員として出席しました。この会議は骨髄バンク推進に関する啓発活動の効果的な方法を検討するため毎年開催されています。会議のメンバーは有識者、関係団体の代表者、関係行政機関職員等で構成されています。愛知県のご挨拶から始まり、（1）2025年度骨髄バンクドナー登録推進事業結果及び2026年度骨髄バンクドナー登録推進事業の実施状況について、また県からの報告後、名古屋市、豊田市、豊橋市、岡崎市、一宮市、愛知県赤十字血液センターからの報告などありました。続いて（2）ドナーに対する助成金について説明があり、ドナーへの助成、ドナーが勤務する事業所への助成は愛知県内全市町村（54市町村）で実施されているとの報告がありました。議題（3）として造血幹細胞移植の現状について出席の医療者より報告がありました。愛知県学生献血連盟、愛知県保健所長会、マスコミの方からも発言があり、最後に当会から2025年度の活動報告、2026年度の活動についてお話させていただきました。1時間30分という時間があっという間に経過し、皆様方の骨髄バンクドナー登録に対する熱い思いを感じてきました。とはいえ、実績が伴わなければ患者さんやご家族の笑顔と出会うことは出来ません。一人でも多くの患者さんに移植の機会が訪れるよう頑張らなければと改めて思い会議を終えました。

「日本福祉大学看護学部」での講演



7月14日（火）、日本福祉大学東海キャンパス　看護学部にてお話してきました。日本福祉大学看護学部での講演は毎年開催されており、骨髄バンクについて、現状、問題点や課題等お話させていただきました。また、造血幹細胞移植を体験した元患者さんにも同行いただきました。学生さんは患者さんの体験談を通じて、慢性GVHDや晩期障害について学習し、心理的・社会的支援について考え、今後の看護について自己の考えを深めます。学生さんたちは一生懸命聞いていました。1時間40分という長丁場ではありましたが、あっという間に経過しました。元患者さんからは、発病当時の様子、治療について、お気持ちや、移植がゴールではなく移植後も様々な問題が続くのだというお話がありました。他にも、妊孕性やきょうだい支援、就労支援、学習支援など、今は様々な支援がある事もお伝えしました。将来、医療の現場に立った時に、今回の講演を思い出していただけると嬉しいなぁと思いつつ帰路につきました。

「中部大学中部大学生命保健科学部保健看護学科」での説明会と語りべ

7月15日（水）、中部大学生命保健科学部保健看護学科で説明会と語りべ活動が行われました。今年の参加者は学生74名（3年生）、教員等５名。初めに愛知県赤十字血液センターから献血についてお話があり、その後、春日井保健所よりドナー登録について、登録までの流れ等説明がありました。説明会終了後、当会より病気について、移植について、骨髄バンクの現状や問題点、課題、若年層のドナー登録の必要性もお伝えしました。元患者さんにもご同行いただき、発病から現在に至るまでのお気持ちなどお伝えいただきました。学生さんたちは患者さんの話を真剣に聞いていました。医療の現場に立った時に参考にしていただければと就労支援やきょうだい支援の事もお伝えしました。今後の骨髄バンクを考えると若い方々のお力が必須です。一人でも多くの方に骨髄バンクを知っていただき、ご登録いただけることを切に願っています。

「愛知県学生献血連盟 令和8年度年次総会」



毎年開催されている「愛知県学生献血連盟年次総会」に今年も出席、骨髄バンクについてお話してきました。愛知県学生献血連盟とは愛知県内の学生による献血推進をするボランティア団体です。年に3回、春分の日（スプリング献血)、お盆（サマー献血）、クリスマス（クリスマス献血）に献血キャンペーンを行なっています。その他、学内、街頭での献血への協力や研修など様々な活動をしています。現在、12大学13団体及び個人の方が参加、計830人の学生さんで構成されています。毎年、総会には愛知県と共に出席、県からは骨髄バンクについて、現状、課題などお伝えしています。私からは、病気について、移植について、登録について、提供についてなど、骨髄バンクについて正しい知識をお伝えします。

各大学、学園祭時に献血とドナー登録会を開催しています。学園祭以外にも学内献血時にドナー登録会を開催している大学もありますが、まだまだ十分とは言えません。若年層の登録者数拡大を推進している骨髄バンク。様々な場で、先ずは骨髄バンク、ドナー登録について知っていただき登録につながればと思っています。

明日への扉「Hospital Of Miracle」結団式



５月８日（金）、滋慶学園COMグループ 社会貢献ミュージカル 明日への扉「Hospital Of Miracle」の結団式に出席しました。このミュージカルは企画から運営も全て学生さんが担当。作品を制作することで、チームワーク、コミュニケーションの大切さ、礼儀やマナーを身につけます。そして募金活動や、手話、字幕などにも取り組み、社会貢献を学びます。公演日の募金活動で集まった募金は、夏目雅子ひまわり基金と日本骨髄バンクに寄付されます。

結団式では移植について、骨髄バンクについて、問題点や課題などお話し、同行いただいた バンクドナーさんからの移植でお元気になった患者さんにも、発病から現在に至るまでもお気持ち、ドナーさんへの感謝の想いをお伝えいただきました。名古屋スクールオブミュージック＆ダンス専門学校のダンス＆アクターズ科120名、プロミュージシャン科50名、PA・照明・企画・運営・映像200名の総勢約470名の学生さんが本番に向けてスタートしました。学生さんからは「貢献できるよう頑張りたい」とのお声も届きました。

今年の本番は9月19日、20日（2回公演）の3回公演。レッスン期間が例年より短く大変だったと思います。本番はダンスもお歌もレベルアップ！ 学生さん、先生方の想いが伝わるステキな舞台でした。

寄付者名簿　2026/4～2026/9　多くのご寄附をありがとうございました　（敬称略・順不同）

4	中神立善	5,000
	東海ろうきんNPO寄付システム	35,300
5	今泉博充	10,000
	磯貝弘	5,000
	東海ろうきんNPO寄付システム	35,300
	ウォーカソン2026募金箱	2,000
	鈴木敏生	10,000
6	水野秋子	50,000
	面高俊文	10,000
	渡辺正雄	10,000
	東海ろうきんNPO寄付システム	36,400
	丹羽哲久	10,000
	黒田好志子	100,000
6	竹内みどり	30,000
	金子岳司	3,000
7	岡田春枝	10,000
	水元ひろの	10,000
	東海ろうきんNPO寄付システム	42,000
	加藤徳男	3,040
	釘貫由美子	20,000
8	東海ろうきんNPO寄付システム	36,100
	CBCラジオ「つボイノリオの聞けば聞くほど」	312,700
	才本和正	50,000
9	東海ろうきんNPO寄付システム	35,900

イオン幸せの黄色いレシートキャンペーン 2025年度贈呈式



4月24日（金）、イオンスタイル熱田で「イオン幸せの黄色いレシートキャンペーン2025年度贈呈式」に出席しました。毎月11日にイオンでお買い物をすると黄色いレシートがでます。そのレシートを応援したい団体に投函する事により投函いただいた合計金額の1%に相当する金額をイオン様がギフトカードでご寄付下さいます。この活動は2001年から全国で始まり、今までに55億円が様々な団体に寄付されたとの事です。また、熱田店では2003年から始まり現在26団体が登録、2025年度は総額646,600円を各団体に配分、当会は69,200円分のギフトカードをいただきました。熱田店では長きに渡りご支援をいただいています。患者家族の宿泊施設を運営していた時には部屋のエアコン、掃除機、電子レンジと数えきれないくらいの備品をいただきました。現在もコピー機やプリンターのトナー、コピー用紙、その他事務用品、消耗品、衛生用品など多くのご支援をいただいています。投函いただいたお客様、イオンスタイル熱田の皆様に感謝申し上げます。皆様のお気持ちを大切に今後も一人でも多くの患者さんやご家族のお力になれるよう活動を続けてまいります。

「つボイノリオの聞けば聞くほど」に出演





７月26日（日）に開催されました「ラジオまつり」の駄菓子の売上収益、桑名の和菓子屋さん「寿恵広」さんが無償提供くださるアイス饅頭の売上、そして番組に寄せられた寄付金を併せた312,700円をいただいてきました。（写真上）
今年の寄付額は過去最高とつボイさんから報告がありました。本当に多くのご寄付をいただきました。感謝の気持ちでいっぱいです。それに先立って7月20日に行われた駄菓子袋詰めの際には当会からも多くのボランティアが参加しました（写真下）。袋詰めに参加したボランティアさんのお一人も番組に出演し、登録時や提供時の思いなどお話をしました。
つボイさん、小高さん、番組スタッフの皆様、いつも気持ちよくお迎えくださいます。いつも番組内の貴重な時間をご提供くださいます。いつもリスナーさんたちの温かいお気持ちが伝わってきます。「6年前に息子が提供、そして最近息子は2度目の提供しました」という嬉しいお便りにウルウル…。ラジオまつりでは暑い中、患者さんや当会のため駄菓子を販売。多くの方にご支援いただいていることに改めて感謝の気持ちでいっぱいです。

「愛知県献血運動推進大会」で広報活動



７月２４日（金）に開催されました愛知県献血運動推進大会会場での啓発活動に参加しました。約300部のギフトオブライフとキティティッシュを来場者にお渡しする事が出来ました。7月が愛の血液助け合い運動月間のため毎年7月最終の金曜日に開催される 愛知県献血運動推進大会。会場の中区役所ホールは地下鉄と直結していないため、ご来場の方々には暑い中をお越しいただく事になります。（毎年、同会場）中には、献血を済ませて開場入りされる方もチラホラ（腕の絆創膏で分かります）。
こうした方々のご協力で患者さんは安心して輸血が受けられます。改めて 感謝!!!。「登録しています」「卒業しました」などのお声も届きました。そして、今年も、ドナー経験者、ライオンズクラブの皆様、他団体の皆様が「久しぶり～」と声をかけて下さいました。毎年、この活動に参加していますが、こうしたお声がけがとても嬉しく、活動の励みになります。そして、気持ちよくリーフレットを受け取って下さる皆様の笑顔も・・・。またまたパワーをいただいた一日でした。

MONTHLY JMDP （2026年10月15日号）から

日本骨髄バンクの現状（2026年9月末現在）

	8月	9月	現在数	累計数
ドナー登録者数	2,045	4,240	566,967	1,043,194
患者登録者数	193	201	1,735	74,599
採取数（末梢血幹細胞）	47	49	－	3,190
採取数（骨髄）	56	49		27,910
採取合計	103	98		31,100

＜年代別ドナー登録者数現在数＞

10代	4,592 人
	＊うち9月新規登録者は294人
20代	102,429 人
30代	138,669 人
40代	204,185 人
50代	117,092 人

＜9月区分別ドナー登録者数＞

献血ルーム	417 人
献血併行型集団登録会	1,541 人
集団登録会	17 人
他	29 人

愛知県の現状

愛知県登録者数（9月）				愛知県移植患者・提供者実施者数（9月末現在）				全国累計	
登録数	取消数	増減	累計	患者居住地	移植数	提供者居住地	採取数	移植数	採取数
82	99	▲ 17	20,974	1,809	2,456	1,793	2,136	31,276	31,302

「骨髄バンク推進月間」の名称変更および「造血幹細胞移植普及推進月間」への改称のお知らせ

これまで10月を「骨髄バンク推進月間」として、骨髄バンクやドナー登録への理解・関心を広げるための普及啓発活動を行ってきました。このたびより広く造血幹細胞移植について知っていただく機会とするため、「骨髄バンク推進月間」の名称を「造血幹細胞移植普及推進月間」へ変更することとなりました。造血幹細胞移植には、骨髄移植や末梢血幹細胞移植、さい帯血移植があります。名称を変更することで、骨髄バンクだけでなく、造血幹細胞移植全体について多くの方に知っていただき、移植を必要とする患者さんや、ドナー登録などの支援について考えていただくきっかけとなることを目指します。これからも「造血 幹細胞移植普及推進月間」を通じて、造血幹細胞移植への理解を深めていただけるよう、さまざまな普及啓発活動に取り組んでまいります。

MONTHLY JMDP　2026年8月14日より

事務局だより

○先日、2年ぶりに患者会（女子会）を開催しました。11時から16時まで、いっぱいおしゃべりして、いっぱい笑って、いっぱい食べてのあっという間の5時間でした。近況報告から始まり、移植後の晩期障害や二次がんについては多くの患者さんから声が上がっていました。フォローアップ外来や定期健診の大切さを改めて確認する時間となりました。何でも話せる人たちがいて、居心地の良い場があるってとても大切な事ですね。

○2011年に国税庁から、2016年に名古屋市から認定NPOとして認定いただき現在に至ります。 2026年は5年に1度の更新年でした。更新完了の書類が届いた時には改めて引き締まる想い・・・。なかなかドナー登録者が増えない中、今後の活動を改めて見直す時期かもしれません。多くの方にご協力いただき、支えられているあいちの会。一人でも多くの患者さんが移植を受けることが出来るよう活動を続けてまいります。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

ご寄付のお願い

あいち骨髄バンクを支援する会の活動は皆様方の善意によって支えられています。いただきましたご寄付は骨髄バンクドナー登録拡大のため、また血液難病の患者さんやそのご家族のお力になれますよう、大切に使わせていただきます。ご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

寄付受付

○ 一般寄付　この会の趣旨に賛同してご寄付いただける方
○ 賛助会員　この会の趣旨に賛同し、継続的にご寄付をしていただける個人、企業及び団体
※企業及び団体　一口30,000円/年
※個人　一口10,000円/年

銀行口座
三菱ＵＦＪ銀行
金山支店普通３６５４７８０

郵便振替口座
００８９０－０－７６６３７

ボランティアについて

○ ボランティア会員
この会の趣旨に賛同し、運営や活動に直接関わっていただける方。会費は無料です。会報や活動報告、イベント案内、骨髄バンクの情報などをお送りいたします。

あいち骨髄バンクを支援する会は、国税庁より「認定特定非営利活動法人（認定NPO法人）」として認められました。これにより2011年2月16日より（2016年からは名古屋市より）当会にご寄附いただける個人・法人の皆様は寄附金控除等の税法上の優遇措置を受けることが出来るようになりました。（所得税・法人税・相続税）

認定特定非営利活動法人 あいち骨髄バンクを支援する会